



ニュースリリース 平成 27年 1月 7日

**株式会社日本政策投資銀行との共同による
地域活性化支援ファンドの組成について**

常陽銀行(頭取 寺門 一義)は、このたび、地域の中堅・中小企業等への支援を通じ、地域経済の活性化、地域の創生に資することを目的として、株式会社日本政策投資銀行(代表取締役社長 橋本 徹、以下「DBJ」)と共同して「いばらき創生ファンド投資事業有限責任組合」を組成しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

本ファンドは、当行の営業地盤において、事業基盤の再生・強化から拡大・成長ならびに新規事業の第二創業まで、あらゆるステージの企業を対象に、ABL や劣後ローン等多様な金融サービスを組み合わせながら、段階的かつ複合的にリスクマネーや成長資金を供給します。

当行は、今後とも、地域の課題解決に向けた総合金融サービス機能の提供を通じ、地域経済の成長、活性化に積極的に取り組んでまいります。

記

1. ファンド名	いばらき創生ファンド投資事業有限責任組合
2. 組成日	1月5日(月)
3. 目的	あらゆるステージの中堅・中小企業等を対象に、多様な金融サービスによるリスクマネーを供給することで、企業の成長を支援し、地域経済の活性化、地域の創生に貢献する。
4. 出資者	有限責任組合員(LP) 株式会社常陽銀行 株式会社日本政策投資銀行 無限責任組合員(GP) 株式会社SFGパートナーズ* *DBJの100%出資子会社
5. ファンド規模	30億円
6. 期間	存続期間10年、投資期間3年 ※必要に応じて延長を行うことがあります。

以上

【スキーム図】

